

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進		
施策のねらい (めざす姿)	地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	菅井 智美

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年4月からスタートする子ども・子育て支援新制度の実施に向け、平成26年度に策定した「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」等に基づき、子育て支援策を実施していく必要がある。	③改革・改善内容	待機児童の解消を継続するため、民間保育所の誘致及び放課後児童クラブ施設の整備改修を行うなど「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援策を実施していく。
②①に基づく取り組み結果	「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童対策の継続、地域の様々な子育て支援策を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	18歳までの児童とその家庭	意図(対象をどうするのか)	子どもとその家庭が社会全体で支援されている
②施策の概要	社会全体で子育てを支えるため、待機児童対策の継続、地域の子育て支援策の実施、子ども医療費の拡大等様々な子育て支援策を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急速な少子化の進行と家庭、地域、雇用など子ども・子育てを取り巻く環境は変化しており、「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、質の高い教育・保育の提供、待機児童対策の継続、地域の子ども・子育て支援策の更なる充実に取り組んでいかなければならない。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	平成27年度:民間保育園整備、小規模保育事業整備、つどいの広場事業など 平成28年度:民間保育園整備、小規模保育事業整備、放課後児童クラブ施設整備、つどいの広場など						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	合計特殊出生率	人	1.33	1.33	調査中	1.34
	ii	保育所待機児童数	人	12	0	0	0
	iii	就学前人口に対する保育所入所率	%	18.6	22.4	25.2	18.0
③基本事業成果指標	i	家庭児童相談室受付件数	件	6,260	7,453	9,328	8,000
	ii	保育所定員数	人	1,210	1,210	1,319	1,545
	iii	子ども医療費受給資格児童数	人	—	14,954	14,366	14,954
	iv	放課後児童クラブ(学童クラブ)定員数	人	—	616	631	721
	v	ファミリーサポートセンター利用件数	件	1,718	2,024	2,120	5,000
	vi	児童センター利用者数	人	118,164	122,113	127,127	120,000
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)		平成29年度予算		
事業費(千円)	4,044,065	4,227,480	(単位:円)		38,722 円	4,725,767	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度から「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」等に基づき待機児童対策の継続、様々な子育て支援策を実施していくが、市の一般財源の負担増が課題である。また、計画策定から2年が経過することから、これまでの状況等を踏まえ見直しを行う必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	保育所の待機児童は年度当初に解消したが、その後発生している状況であることから、引き続き解消策を継続しなければならない。また、他の子育て支援策についても、更なる質の向上を図っていかなければならない。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	民間保育園整備助成事業		
④上記方向性の説明	子育て支援策の拡充は市の重点施策であり、その充実により子育て世代にとって魅力ある街づくりを進めていくことが必要である。		